

アルペ記述読解教室 学習成果発表会

2021

～2021年春の開催の様子をご紹介します～



学習成果発表会とは

- ☆10年の歴史を持つ、アルペの伝統行事です。
- ☆プレゼン、暗唱、スピーチ、作文など、4～5部門を開催します。
- ☆通常授業や特別講座にて、準備をして挑戦します。
- ☆優秀な発表には最優秀賞をはじめとする賞が送られます。



発表会の理念

アルペ記述読解教室では、「**真の国語力**」を身に付けてほしい」という思いから、**未来につながる学び**をテーマとしています。

日々の学習を通じて身に付けた**“テストでは測れない豊かな国語力”**を発表する場として設けたのが、「**学習成果発表会**」です。

日々の学びの集大成の場であるとともに、共に学ぶ仲間の発表から刺激を受けて高め合い、**さらなる学びのヒント**を得る場であってほしいと思っています。

アルペ記述読解教室 塾長 **高木 恭子**

プレゼン部門

プレゼン部門とは

興味を持った時事問題について、スライドを用いて、自分の調べたこと・考えたことを、発表する部門。

プレゼン部門に込めた思い

- ☆調べたこと/考えたことを周囲に伝えるプレゼン力は非常に重要な力。社会に出てからも、仕事や日常生活の中で生きる力である。
- ☆自分で決めた題材を、調べて、まとめて、発表するという経験を通じて、思考力の面でも精神力の面でも、大きく成長してもらいたい。



過去に扱ったテーマ

- ・ AIと人間の明るい未来
- ・ 絶滅危惧種と人間
- ・ 世界の小学校教育の違い
- ・ 2050年の小学校はどうなるのか
- ・ 将来有効活用できるエネルギーとは
- ・ 世界で活躍する女性リーダーたち
- ・ 日本のコロナ対策は有意義だったか
- ・ かけがえのない昆虫 ミツバチを守れ

準備の進め方

- ※プレゼンに特化した講座も開講し、準備を進めます。
- ①扱う題材を決め、自分で詳しく調べ学習する。
- ②調べたことを基に、自分なりの意見をまとめる
- ③調べたこと・考えたことを、スライドにまとめる（PowerPointを使用）
- ④講師の指導の下、声の抑揚やスライドを変えるタイミングにまでこだわって、発表練習を進める

暗唱部門

暗唱部門とは

詩や古文、漢文を多数収録した「アルペ暗唱文集」から、1つ作品を選び、自分の個性を活かして、暗唱発表する部門。

暗唱部門に込めた思い

- ☆暗唱は、語彙力/暗記力/表現力といった国語学習の土台を身に付けるのに最適な学びである。
- ☆学年や学力に関係なく参加できるため、学びの入り口としてもチャレンジしてほしい。
- ☆お客さんの前で、自分の好きな作品を発表することで、自信を深めてほしい。
- ☆多様な文学作品と触れ、文化教養を磨いてほしい。

準備の進め方

- ①暗唱文集の中から好きな作品を1つ選ぶ
- ②選んだ作品を、きちんと暗記する
- ③講師の指導の下、声の大きさから抑揚の付け方、といった細部にまでこだわって、練習を進める

入賞した題材

金賞

「君死にたまふことなかれ」 与謝野晶子

銀賞

「信じる」谷川俊太郎
「生きる」谷川俊太郎

銅賞

「落葉松」北原白秋
「花のき村と盗人たち」新美南吉

スピーチ部門

スピーチ部門とは

決められた題材に対して、“原稿を持たずに”自分の意見や思いを発表する部門。

スピーチ部門に込めた思い

☆自分の考えを、相手の心の琴線に触れるような言葉を選びながら伝える力は、スピーチを通じてこそ身につくものである。

☆トレーニングで、話し方は格段に上達する。

☆自分の言葉で「伝える力」を、今後の日本を背負って立つ子どもたちに身に付けてほしい。



発表タイトル「幸せのために」

準備の進め方

- ①決められた題材について、原稿を書く
- ②講師の添削を受け、原稿を頭に入れる
- ③講師の指導の下、表情や細かい表現にまでこだわって、練習を進める

2021年春の題材:「心に残った言葉」



作文部門

作文部門とは

決められた題材に対して書いた作文を、原稿を持ちながら、発表する部門。

作文部門に込めた思い

☆アルペで年間50枚近く作文を書き、磨き上げてきた作文力に、自信をつけてほしい。

☆家族や友達への感謝など、普段なかなか言葉にしづらい想いを、作文を通じて伝えてもらいたい。

☆想いをこめた作文を素敵な発声で、読めるようになってほしい。

準備の進め方

- ①決められた題材で作文を書く
- ②講師の添削を受け、作文を書き直す
- ③講師の指導の下、声の抑揚やスピード感にまでこだわって、練習を重ねる

2021年春の金賞作品

怖がりのわたしにできるかな
小3 女子

私の将来の夢は、医者になる事です。私の母は、かんごしです。私は、母がかんごしとして、たよられている所を多く見て育ちました。だから私も、医りよう関係の仕事について多くの人を助けたいと思っています。

私が、母をとともそんけいするきつかけとなつた出来事があります。それは、ようち園の親友の妹がレストランで、ウインナーを、のどにつまらせた事です。まわりの人がきゆうきゆう車をよぶかまよっていたら、母がその子をかえ上げました。そして、せなかをバンパシたき、ウインナーを出しました。すると心配さうに見ていたお客さんたちからはくしゅがおこりました。知らない人にもほめられる母をとともそんけいしました。けれど私は、その時わがって、ただみているだけでした。

だから、たくさん勉強して、医者になりたいです。そして、母といっしょに、私が建てた病院で、どんな時も母にせいに、たくさんの人を助けたいです。だから母には、長生きしてほしい。

2021年春発表会を観覧された保護者の感想

保護者①

緊張感ある、とても立派な発表会でした。あのようなステージから客席に向けてスピーチやプレゼンを行う機会はなかなかなく、貴重な経験をさせていただきました。

保護者②

緊張した面持ちで発表に臨むわが子の普段は見られない姿を見ることができ、親としてはとてもありがたく思いました。

保護者③

舞台上で発表する事は、なかなか出来ない経験なので、子供にとってとても良い刺激になりました。途中躓きながらも最後まで諦めずに発表してる姿に我が子の成長を感じる事ができました

保護者④

人前で発表することで自信がつくとともに、お友達の発表から、どういふ発表の仕方なら、相手の気持ちに響くかを感じ、学ぶ機会になりました。

保護者⑤

プレゼンは初めてで、資料はどう作れば良いのか、からスタートしました。言いたいことに合った資料を探したり、グラフからわかることを考えたり、アルペの授業の中で学んだことを活かしながらの準備は、見ている私も面白かったです。

保護者⑥

同級生や学年の違うお子様の発表を見ることで、とても刺激になったようです。帰宅後すぐに、『次はこうしたい！』などと話している子どもの姿を見て大変嬉しく感じました。

2021年春発表会に参加した生徒の感想

小4 女子（プレゼン・暗唱部門 出場）

緊張していたので、その時の記憶はありませんが、言い間違えをしまい悔しかったです。そして、もう少し抑揚を付け、はっきりと大きな声で、気持ちを込めて発表したかったです。

小3 女子（暗唱・スピーチ部門 出場）

少し間違えてしまったので、悔しかった。次はきちんと発表できるように、たくさん練習したい。

小4 女子（暗唱・作文部門 出場）

きちんと暗記してはいたけど、もじもじしてしまったり、声もみんなに比べて小さかった。振り返ってみて、もっと声を大きく出せばよかったと思う。でも、とにかく楽しかった！

小3 女子（暗唱・スピーチ部門 出場）

今回悔しかったことは、スピーチで紙の上下を反対に上げてしまったことです。今回の発表会で、いろいろ学ぶことができたので、次回に活かしていきたいです。

小3 女子（暗唱・作文部門 出場）

ステージに立つと、目の前にたくさんのお客様がいました。すると、今まで個の発表会のために準備してきた事が一瞬のうちに思い出されて、とても緊張しました。しかし、「楽しみ」という思いもありました。

